

幸豊建設株式会社

2023年度 環境経営レポート

(対象期間:2023年6月～2024年5月)



発行日:2024年9月24日

ごあいさつ

幸豊建設株式会社は、社是「誠実」を掲げ、建築工事業を主として、設立以来多くのお客様から信頼とご支援を賜りながら堅実な経営を営んでおります。

この度当社は、エコアクション21に基づく環境経営システムを構築し運用開始することによって、地球環境に優しい企業として、新たな一步を踏み出しました。

これを全社員に周知徹底し、環境意識を高め、経営における課題とチャンスを定期的に明確にし、これらを継続的に改善し、環境負荷の低減を積極的に取り組んで行くことを宣言します。

環境方針

幸豊建設株式会社は、地球環境保全を我々人類の責務と考え、建築工事業等の事業活動において、省エネルギー、省資源、リサイクルの推進により、環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に環境保全活動に取り組み、広く地域社会に貢献してまいります。そして、環境経営システムを維持し、継続的改善をしていきます。

1. 環境関連法規、エコアクション21の要求事項及び当社が約束したことを遵守する
2. 二酸化炭素排出量の削減を推進する(電気、ガソリン、軽油)
3. 廃棄物の削減、再生利用及び適正処理を推進する
4. 水道使用量の削減を推進する
5. 環境に配慮した工事を推進する
6. 従業員に対する研修等を通じて、環境経営方針や環境活動について周知徹底する

制定日:2013年5月28日

改訂日:2019年6月5日

幸豊建設株式会社

代表取締役 **大塩 豊**

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名
幸豊建設株式会社
代表取締役 大塩 豊

(2) 所在地
本社：〒671-2201 兵庫県姫路市書写2648-1
倉庫：〒671-2217 兵庫県姫路市町田229-1
資材置き場：〒671-2217 兵庫県姫路市町田205-1

(3) 環境管理責任者及び担当者の氏名・連絡先
責任者兼担当者：山崎 里美
連絡先 TEL：079-266-8998 email：koho@sweet.ocn.ne.jp
FAX：079-266-6622 URL：http://www.koho-kk.co.jp

(4) 事業内容
建築工事業、内装仕上工事業、土木工事業、とび・土工工事業、造園工事業、舗装工事業、解体工事業
介護タクシー事業

(5) 事業の規模
売上 455,607千円（2023年6月1日～2024年5月31日実績）

	本社	倉庫	資材置き場
従業員	12人	-	-
延べ床面積	197.24㎡	861㎡(敷地面積)	980㎡(敷地面積)

(6) 事業年度
6月1日～5月31日

(7) 建設業許可の内容及び許可番号

許可者	事業の区分	許可番号	事業範囲	許可取得年月日	許可有効期限
兵庫県	一般建設業	455723	土木工事業 とび・土工工事業 造園工事業 舗装工事業 解体工事業	令和3年5月1日	令和8年4月30日
兵庫県	特定建設業	455723	建築工事業 内装仕上工事業	令和3年5月1日	令和8年4月30日

産業廃棄物収集運搬業許可の内容及び許可番号

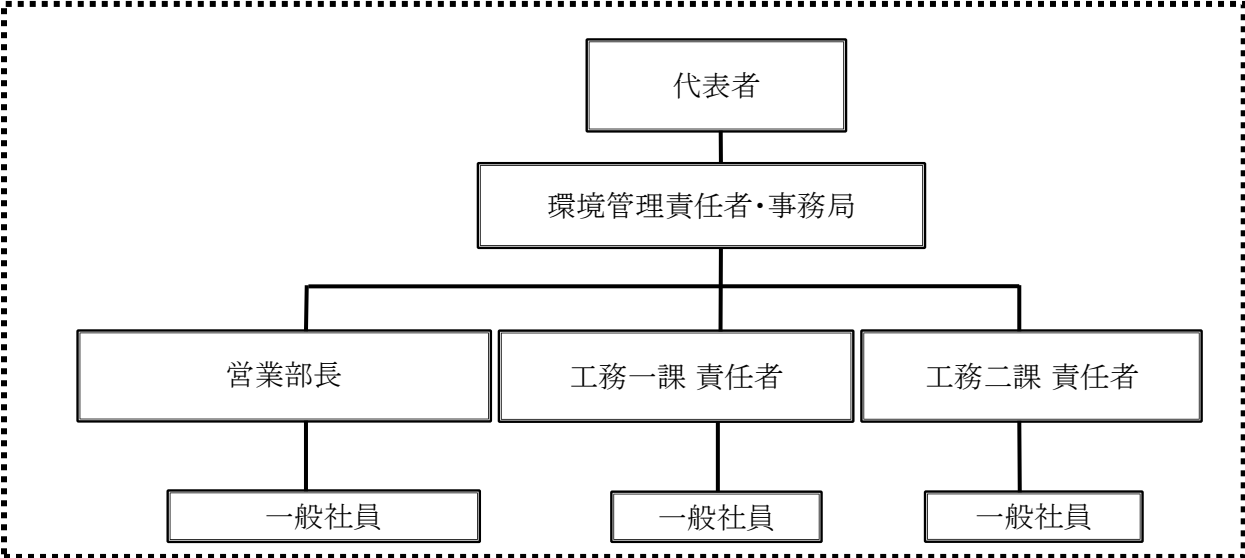
許可者	許可番号	業の区分	許可取得年月日	許可有効期限
兵庫県	第02802106625号	収集運搬	令和5年10月15日	令和10年10月14日

注：産業廃棄物の収集運搬の対象は、自社元請工事で発生したもののみ。

□認証・登録の対象範囲

登録組織名：幸豊建設株式会社
対象事業所：本社、倉庫、資材置き場
対象外：なし
活動：建築工事業、内装仕上工事業、土木工事業、とび・土工工事業、
造園工事業、舗装工事業、解体工事業、介護タクシー事業

実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・経営における課題とチャンスの敵的な明確化の実施 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規制等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・特定された項目の手順書作成 ・特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所への備付けと地域事務局への送付) ・環境活動に関する教育訓練の計画、実行、記録 ・緊急事態への対応訓練(テスト)の計画、実行 ・問題点の発見、是正処置、予防処置の立案と実行管理
営業部長及び 工務責任者	・環境管理責任者の補佐 ・現場での緊急事態対応実施
一般社員	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2019年度 基準年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	30,678	27,829.7	24,294.2	24,733.0	34,620.7
電力	kWh	12,914	13,562	14,682	13,508	12,749
ガソリン	L	7,733	6,593.8	4,905	5,143	5,701
軽油	L	3,265	3,101.7	3,105	3,213	6,542
廃棄物排出量				-	-	-
一般廃棄物	kg	147	145.50	140.7	136.5	137.1
産業廃棄物	t	1,199.7	26.09	76.0	50.5	43.94
総排水量	m ³	118	114	121.5	108.5	129.5

□環境目標及びその実績

(1) 中長期目標

年 度 項 目		2019年度 基準年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	30,678	29,451	29,144	28,837	28,531	28,224
			△4%	△5%	△6%	△7%	△8%
電力使用量削減	kWh	12,914.0	12,397.4	12,268.3	12,139	12,010	11,881
	kg-CO ₂	4,313	4,141	4,098	4,054	4,011	3,968
	対基準		△4%	△5%	△6%	△7%	△8%
ガソリン 使用量削減	L	7,733.1	7,423.8	7,346.4	7,269	7,192	7,114
	kg-CO ₂	17,941	17,223	17,044	16,864	16,685	16,506
	対基準		△4%	△5%	△6%	△7%	△8%
軽油 使用量削減	L	3,265.2	3,134.6	3,101.9	3,069	3,037	3,004
	kg-CO ₂	8,424	8,087	8,003	7,919	7,835	7,750
	対基準		△4%	△5%	△6%	△7%	△8%
II. 廃棄物排出量 一般廃棄物削減	kg	147.0	141.1	139.7	138	137	135
	対基準		△4%	△5%	△6%	△7%	△8%
産業廃棄物 再資源化率向上	%	98.4%	99.4%	99.4%	99.4%	99.4%	99.4%
	対基準		+1%	+1%	+1%	+1%	+1%
III. 水使用量削減	m ³	117.5	112.8	111.6	110	109	108
	対基準		△4%	△5%	△6%	△7%	△8%
IV. 環境に配慮した 工事を推進(無理、 無駄、ムラの削減)	件	0	提案 1件	提案 1件	提案 1件	提案 1件	提案 1件
	対基準		+1件	+1件	+1件	+1件	+1件

注) 電力の二酸化炭素排出量への換算係数は、2018年度関西電力公表の調整後係数
0.334kg-CO₂/kWhを使用。
注) 無理、無駄、ムラ…工事現場の手直し等の削減
注) 化学物質は使用しない。

(2) 2023年度の実績

年 度 項 目		2019年度	2023年度実績 (2023年6月1日～2024年5月31日)			
		基準年度	目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	30,678	29,451	34,621	85%	×
	対基準		△4%			
電力使用量削減	kWh	12,914.0	12,397	12,749.0	97%	△
	kg-CO ₂	4,313	4,141	4,258		
	対基準		△4%			
ガソリン 使用量削減	L	7,733.1	7,423.8	5,700.6	130%	○
	kg-CO ₂	17,941	17,223	13,225		
	対基準		△4%			
軽油 使用量削減	L	3,265.2	3,134.6	6,642.3	47%	×
	kg-CO ₂	8,424	8,087	17,137		
	対基準		△4%			
II. 廃棄物排出量 一般廃棄物削減	kg	147.0	141.1	137.1	103%	○
	対基準		△4%			
産業廃棄物 再資源化率向上	%	98.4%	99.4%	88.5%	89.0%	×
			+1%			
III. 水使用量削減	m ³	117.5	112.8	129.5	87%	×
	対基準		△4%			
IV. 環境に配慮した 工事を推進(無理、 無駄、ムラの削減)	件	0	提案 1件	提案2件	200%	○
	対基準		+1件			

注)評価欄にて、○:達成(100%以上)、△:やや未達成(90%以上～100%未満)、×:未達成(90%未満)

※)産業廃棄物再資源化量(再資源化量／総排出量×100)

※)2022年度は、再資源化できる産廃の排出量が少なかったため、再資源化率が減少した。

□環境活動の取り組み計画と評価・次年度の取組内容

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評 価(結果と今後の方向)
二酸化炭素排出量の削減 (目標未達成)		
・下記の通り。	△	軽油の使用量が増加したため、使用量が増加した。
電力使用量の削減 (目標やや未達成)		
・照明等の電源管理	○	概ね達成、不要照明の消灯を徹底する。
・エアコンの温度管理 (冷房28℃暖房20℃)	△	気候変動により、使用量が増えた。健康に影響がない程度に削減に 取り組み。
・空調設備の無駄な運転を削減	○	概ね達成、今後も対応していく。
		今後も一層積極的な取り組みを実施する。
ガソリン使用量の削減 (目標達成)		
・エコドライブ教育	◎	さらに意識をしエコドライブを実行する。
・アイドリングストップ	○	意識付けは進んできた。
・空気圧、オイル等の車両点検	○	定期的に実施することが必要。
		今後も一層積極的な取り組みを実施する。
軽油使用量の削減 (目標達成)		
・エコドライブ教育	○	もっと意識をしエコドライブを実行する。
・アイドリングストップ	△	意識付けは進んできた。
・空気圧、オイル等の車両点検	△	定期的に実施することが必要。
		今後も一層積極的な取り組みを実施する。
一般廃棄物の削減 (目標達成)		
・無駄なコピー用紙の使用削減	◎	裏紙を利用し取り組んでいる。
・書類の簡素化推進	○	紙の使用量が多いので改善の余地あり。
		今後も一層積極的な取り組みを実施する。
産業廃棄物の再資源化率の向上 (目標未達成)		
・環境関連法規制等遵守	○	引き続き法規制遵守に努める。
・マニフェストの適正管理	○	管理が出来ている。
・3Rの徹底	△	さらなる教育が必要。
		今後も一層積極的な取り組みを実施する。
水使用量の削減 (目標未達成)		
・車輛洗車時の節水を徹底	△	今後も節水を心がける。
・日常的な節水の周知徹底	○	より多くの工夫ができるようにする。
		今後も一層積極的な取り組みを実施する。
環境に配慮した工事を推進(無理、無駄、ムラの削減) (目標達成)		
・環境配慮型工法の情報収集	△	情報収集によって設定した目標を実施できるよう取り組む。
・来年度以降の目標設定		今後も一層積極的な取り組みを実施する。

□環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき事項	評価
廃棄物処理法	委託基準:一廃、産廃収集業者の許可の確認、契約	遵守
	保管基準	遵守
	産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	遵守
	マニフェストの交付と適正管理	遵守
建設リサイクル法	建設廃棄物の再資源化の促進	遵守
騒音規制法	特定建設作業届出、規制基準遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業届出、規制基準遵守	遵守
自動車NOx・PM法	対策地域内で排気ガス規制に適合した自動車の使用	遵守
消防法	消火器の定期点検	遵守
大気汚染防止法	石綿使用の事前調査、発注者への調査結果の書面説明 特定粉じん等排出作業実施計画の届出 調査結果の解体等工事場所への掲示	遵守
フロン排出抑制法	冷凍空調機器の簡易点検・定期点検、点検記録の保存 機器の点検・修理やフロン類の充填・回収等の機器整備に関する履歴の記録・保存 解体前の対象機器の点検、発注者への説明	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。
なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

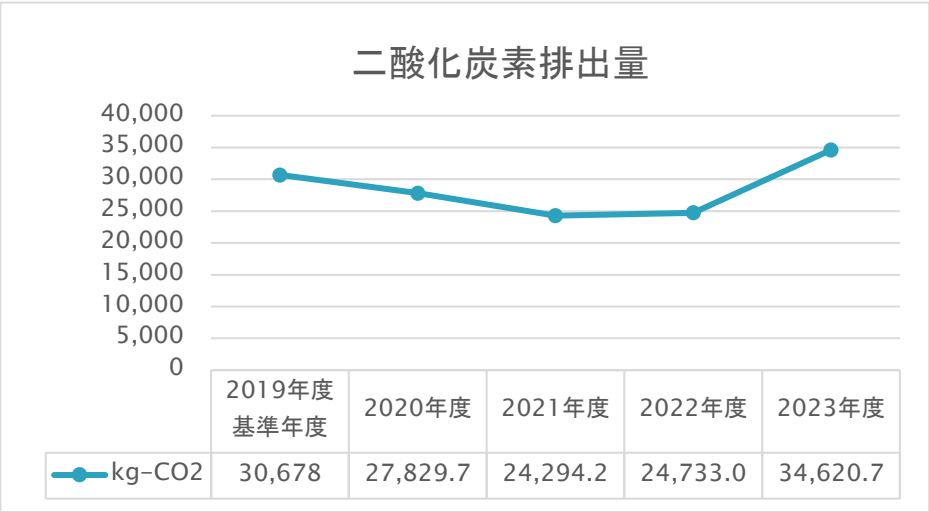
□代表者による全体の評価と見直し・指示

エコアクション21に取り組む中で、社員全員が環境の大切さを認識することができました。環境コミュニケーションを図ることで、従業員のコミュニケーションも増加しています。
電力使用量、軽油使用量、水使用量が増加傾向にあります。電力、軽油については、2年連続であるので、より削減活動に取り組みます。
これからも教育の機会を増やして社員全員の意識向上を図り、より積極的に取り組んでいきたいと思ひます。

項目	見直し要否	見直し内容
環境経営方針	否	-
環境経営目標	否	-
環境経営計画	否	-
実施体制	否	-
その他	否	-

2024年9月24日

代表取締役 大塩 豊



当社はエコアクション21の認証を
取得しています！



姫路警察署
駅前交番庁舎新築工事

当社発行「キャトル通信」VOL.36 2014年5・6月号より抜粋